

低コスト林業研修会等の開催について

1 はじめに

気仙地方では、施業等の効率的化により「再造林」の促進等を図ることを目的に「低コスト林業研修会」を、また、「意欲と能力のある林業経営体」等を始めとする林業事業体等の資質向上や相互関係強化、情報共有や意見交換等を通じ、課題の整理や解決につなげていくことを目的に林業経営体を対象とした勉強会を開催しています。

今回、管内の市町及び「意欲と能力のある林業経営体」等の林業事業体を対象に現地研修会と勉強会を開催しました。

2 研修会等の内容

令和4年1月14日(金)に大船渡市において、低コスト林業につながるツールとして、効率的な境界管理や省力化した測量が期待できるRTK-GNSS(高精度のGPS機器)について、講師に岩手県林業技術センターの村上主査専門研究員を迎え、現地での端末操作の体験、室内での講義等を実施しました。

(1) 現地研修会

令和3年度に森林整備事業(再造林)を実施した施行地において、事前に当センターでGNSS計測した現地測量杭の計測データを用いて操作体験を実施しました。

今回は、端末アプリのナビゲーションに従い測点まで到達し、その場で地点登録を行うという作業を行っていただきました。

なお、研修を実施した箇所は、携帯電話のデータ通信可能エリアで位置補正サービスが利用でき、事前の計測データ作成では良好な状態で計測できた箇所でしたが、樹高の高い林分に

隣接する箇所において、当日の衛星の位置関係等の影響により、一部FIX解(誤差の精度を判断する指標)が得られない測点がありました。

そのため、参加者には、FIX解が得られた場合の数cmでの精度と、FIX解が得られない場合の数mの精度との差を体験してもらうことになりました。

位置補正サービスが利用できる測点では、アプリのナビゲーションにより杭まで到達してもらい、アンテナの水平具合や、測量杭に対しアンテナをどこに置か等により測点までの距離が数cm単位で変わることを、地点登録については、測点上で一定時間保持するだけで簡単に登録できることを体験してもらいました。

(2) 勉強会

勉強会では、RTK-GNSSの基礎知識のほか、森林経営管理制度及び令和4年4月1日から様式が変更となる「伐採及び伐採後の造林の届出書」の概要及び留意点等について講義及び質疑応答を行いました。

3 今後の対応

今後は、GNSS受信機で取得したデータを活用するためのソフト的な部分(QGISによる図面作成等)の勉強会を開催するほか、興味を示した事業体に対して、個別勉強会を企画する予定です。

